

Asahi

水道直圧式

石油給湯機付ふろがま

取扱説明書



Maximum Heating System in every way B-Max33

型式 ASE-K33

このたびは Asahi 石油給湯機付ふろがまをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。なお、取扱説明書は工事説明書と共に必ず保存し、おわりにならないことや、不具合が生じたときにお役立てください。
- 保証書は販売店からお受け取りになる際に、必要事項が記入してあるか必ず確認してください。
- 取扱説明書を紛失された場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- 必ず良質の灯油（JIS1 号灯油）を使用してください。
- 製品改良により、本体・仕様等が説明書の内容と異なる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

もくじ

ページ

特に注意していただきたいこと	1
各部のなまえ	
外観図	9
本体構造図	10
バーナー部	10
メインリモコン	11
ふろリモコン	13
使用前の準備	15
現在時刻の設定	18
使用方法	
給湯	19
追いだき	20
ふろ自動運転	21
予約運転のしかた	23
保温時間の変更	24
たし湯運転	25
ぬるめ運転	26
給湯モードの切替について	27
リモコンの優先について	30
使用上の注意	32
凍結予防	33
安全装置	36
その他の装置	37
日常の点検・手入れ	
点検・手入れのときの注意	38
点検・手入れの時期、 必要項目、方法	38
故障・異常の見分けかたと処置方法	40
部品交換のしかた	43
定期点検	43
仕様	44
アフターサービス	45
据付け	46

特に注意していただきたいこと

- ご使用の前に、この「特に注意していただきたいこと」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、危害・損害の程度によって次のように分類されます。いずれも安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

- 絵表示について次のような意味があります。

禁 止		ガソリン厳禁	指 示 注 意		電源プラグを抜くこと
		接触禁止			必ず行うこと
		分解禁止			一般的な注意
		一般的な禁止			高温注意

警告 (WARNING)

ガソリン厳禁



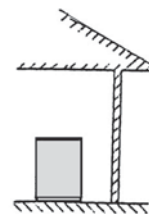
灯油専用
KEROSENE ONLY

ガソリンなど揮発性の高い油は絶対に使用しないでください。火災のおそれがあります。

排ガスは必ず屋外に出す



禁止



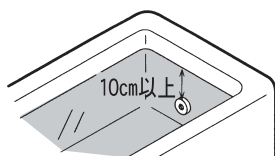
排ガスを室内に出すと、一酸化炭素が発生して中毒になるおそれがあります。必ず屋外に設置してください。

⚠ 注意 (CAUTION)

空だきに注意



注意



追いだきやたし湯をするときには、浴そうに水が入っていることを確認してください。火災のおそれがあります。
(必ず循環口から約10cm以上給水し)てください。

高温部接触禁止



接触禁止



燃焼中や消火直後は、高温部（機器や排気部）に手など触れないでください。やけどのおそれがあります。

高温注意



高温注意



シャワーを使用するときや入浴するときは手で湯温を確かめてください。

やけどのおそれがあります。

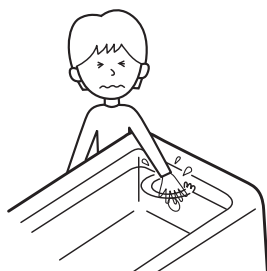
また、シャワー使用中は使用者以外の人はお湯の温度を変更しないでください。

やけどのおそれがあります。

ソーラ1及びソーラ2モードの場合給湯せんを絞りすぎて、流量が少なくなると、ソーラ水の熱いお湯がそのまま出る場合がありますのでご注意ください。又、リモコン表示部にエラーコード「P1」が表示した場合は、太陽熱温水器のあついお湯がでる場合がありますのでご注意ください。やけどのおそれがあります。給湯せん又はシャワーを閉じて再び開いたとき、追いだき中やその直後は一瞬熱いお湯が出ることがありますのでご注意ください。やけどのおそれがあります。



高温注意



循環口のまわりは高温になるのでご注意ください。やけどのおそれがあります。

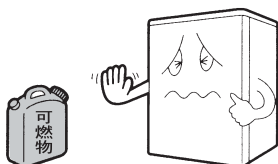
特に注意していただきたいこと

⚠ 注意 (CAUTION)

可燃物禁止



禁止



壁や周囲の可燃物から充分離して設置してください。(工事説明書参照)

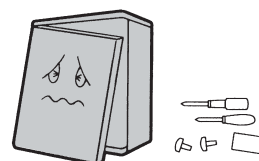
また機器の上や周囲にもものを置かないでください。火災のおそれがあります。

分解修理・改造の禁止

(感電・漏電・火災の原因)



分解禁止

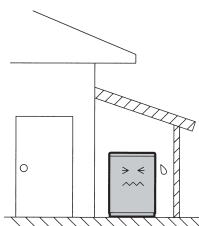


故障・破損したら、使用しないでください。不完全な修理や改造は危険です。

囲い禁止



禁止

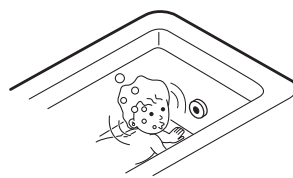


機器や排気部を波板などで囲まないでください。酸欠事故が発生したり、不完全燃焼・火災の原因になります。

子どもに注意



禁止



循環口付近でもぐらないでください。吸い込まれて事故・ケガをすることがあります。特に小さなお子様には注意してください。

長期間使用しないときは 機器内の水抜きを行い、電源プラグを抜く

長期間使用しないときは機器内の水抜きを行い、電源プラグを抜いてください。
火災や予想しない事故の原因になります。



電源プラグを抜く

34・35 ページ

コンセントや配線器具の定格をこえる使い方や 交流 100V 以外での使用はしない

防雨型コンセントを使ってください。
他の器具と併用すると、発熱による火災の原因になります。



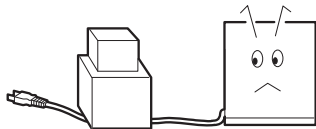
禁止

⚠ 注意 (CAUTION)

電源コードを傷めない



禁止

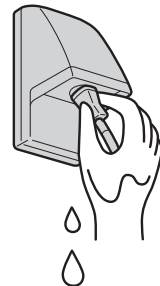


電源コードに無理な力を加えたり、物を乗せたりしないでください。また電源プラグを抜くときは、コードを持って引き抜かないでください。火災や感電の原因になります。

濡れた手危険



禁止

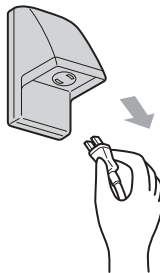


電源プラグを濡れた手で触らないでください。感電のおそれがあり、危険です。

電源プラグを抜いて停止させない



禁止

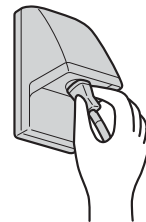


電源プラグを抜いて機器を運転状態から停止させないでください。火災・感電の原因になります。

電源プラグを確実に差し込む



必ず行う

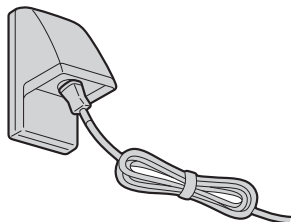


電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。また、傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。火災の原因になります。

電源コードは束ねたまま使用しない



禁止

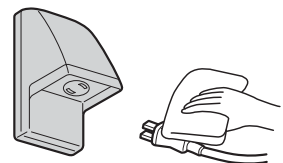


電源コードは絶対に束ねたまま使用しないでください。発熱や火災の原因になります。

電源プラグのお手入れをする



必ず行う



ときどきは電源プラグを抜き、ホコリ（および金属物）を除去してください。ホコリがたまると湿気などで絶縁不良になり火災の原因になります。

特に注意していただきたいこと

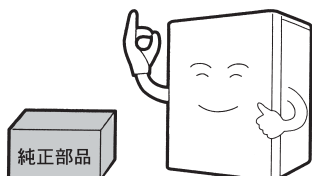
⚠ 注意 (CAUTION)

純正部品以外は使用しない

(事故の原因)



必ず行う

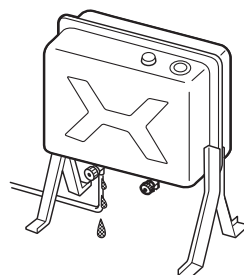


部品は必ず Asahi 石油給湯機付ふるがま純正部品（指定された部品）を使用してください。

油漏れに注意 (火災の原因)



必ず行う



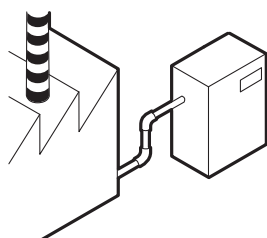
機器や油タンクの送油経路、特に接合部などに油漏れがないか確認してください。

家庭用以外の使用禁止

(事故の原因)



禁止



この機器は家庭用です。業務用には使用しないでください。
業務用に使用して事故が発生した場合は、保証の対象外になります。

安全装置が作動したときは



必ず行う

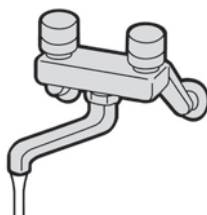
安全装置が作動したときは、この説明書の P 36、37 に従って処置をしてください。処置をしないで何度もリセットを繰り返さないでください。火災・事故の原因になります。

36・37 ページ

用途に注意



必ず行う



家庭の給湯、シャワー、追いだき以外の用途には使用しないでください。思わぬ事故の原因になります。

異常時使用禁止



禁止

万一異常（音、煙、臭い）を感じたときは使用しないでください。異常燃焼のおそれがあります。

⚠ 注意 (CAUTION)

変質灯油・不純灯油は使わない

変質灯油や不純灯油などは絶対に使用しないでください。
異常燃焼や故障の原因になることがあります。



禁止

お手入れするときは本体が冷えた後、電源プラグを抜いてから行う

感電・やけどの原因になることがあります。



必ず行う

上に乗ったり、物を乗せたりしない

落下・転倒など、けがの原因になることがあります。
機器を損傷するおそれがあります。



必ず行う

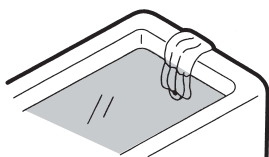
お願い (NOTICE)

循環口をふさがないで

(故障の原因)



禁止

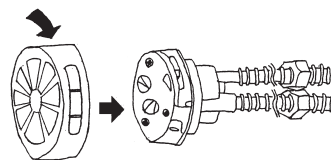


浴そうの循環口は手や足、タオルなどでふさがないでください。

循環口フィルタは必ずつける



必ず行う

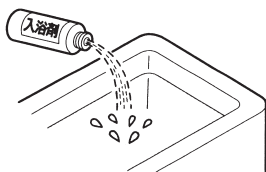


循環口フィルタをはずして使用しないでください。循環ポンプに髪の毛やゴミが詰まり故障の原因になります。

入浴剤・洗剤に注意



禁止



温泉水やイオウ、酸、アルカリを含んだ入浴剤や洗剤は、熱交換器の腐食の原因になりますので使用しないでください。

石けんの使用禁止



禁止



浴そう内では石けんやボディーシャンプーを使用しないでください。次回使用時に泡が出たり、循環ポンプの故障の原因になります。

特に注意していただきたいこと

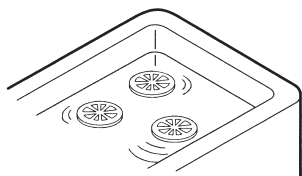
お願い (NOTICE)

循環口フィルタの詰まりに注意

(故障の原因)



禁止



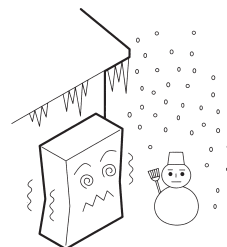
浴そうにミカンやレモン等を浮かべて使用しないでください。またポップリ等をご使用の場合は、袋などに入れて使用してください。

凍結に注意

(故障の原因)



注意



冬期には寒冷地だけでなく暖かい地方でも急な寒波のため機器や配管が凍結して破損することがあります。冬期には充分注意してください。

33～36 ページ

リモコンに水をかけない



注意

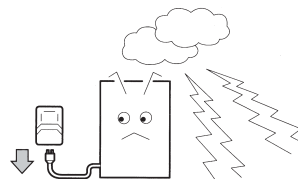


リモコンに水をかけないでください。故障の原因になります。

落雷のおそれがあるときの処置



電源プラグを抜く

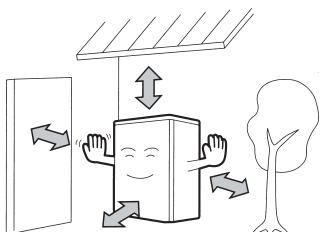


雷による一時的な過電圧で電子部品を損傷することがありますので、雷が発生したときは、すみやかに電源プラグをコンセントから抜いてください。

サービススペースの確保



必ず行う



機器の周囲には点検・整備のためのサービススペースを確保してください。

電気器具の近くに設置しない



禁止



テレビやラジオ等の近くに設置すると映像の乱れや雑音が入ることがあります。離して設置してください。

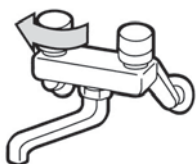
お願い (NOTICE)

断水の際は



必ず行う

閉じる



給湯じゃ口を閉じ、運転スイッチを「切」にしてください。

42 ページ

高地で使用する場合は ご相談を…

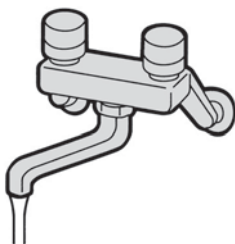


注意

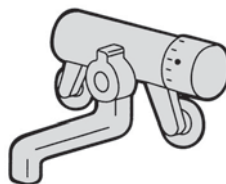


標高 1,000m～1,300mの高地で使用する場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

混合水栓について



混合水栓は通水抵抗の少ないもの、またシャワーヘッドは圧力損失の少ないものを使用してください。水圧の低い地域では泡沫水栓等で使用できないことがあります。



やけど防止のためサーモスタット付混合水栓（通水抵抗の少ないもの）の使用をおすすめします。

給水源について

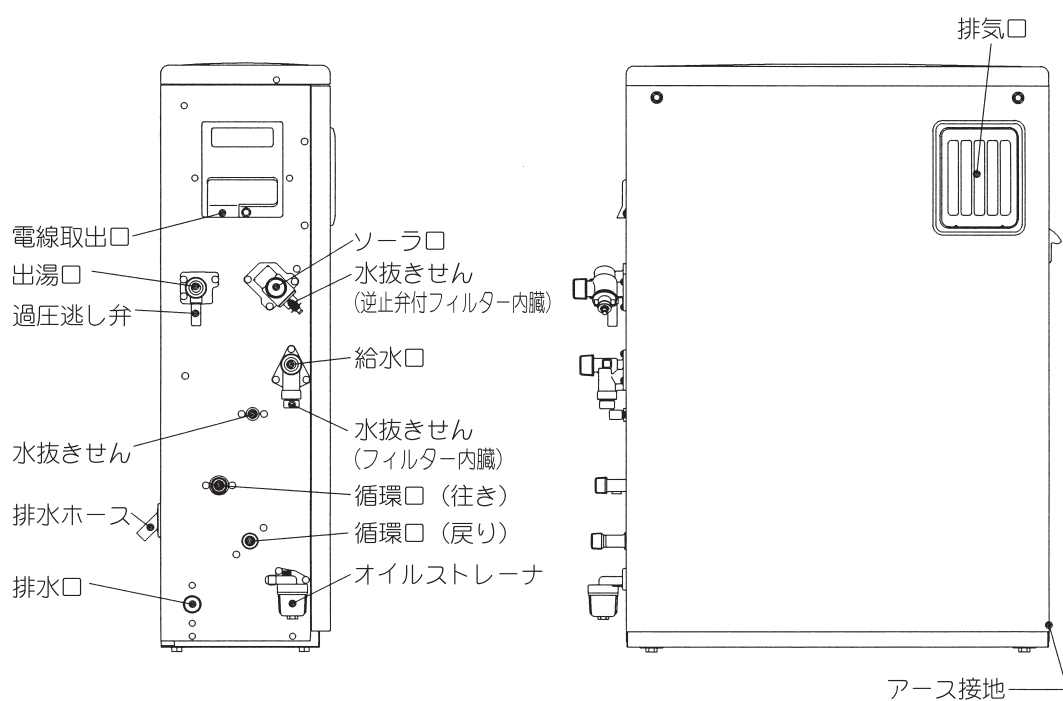
この機器を温泉水・井戸水で使用すると、機器の熱交換器・内部配管の水漏れ等耐久性を損なう場合がありますので使用しないでください。



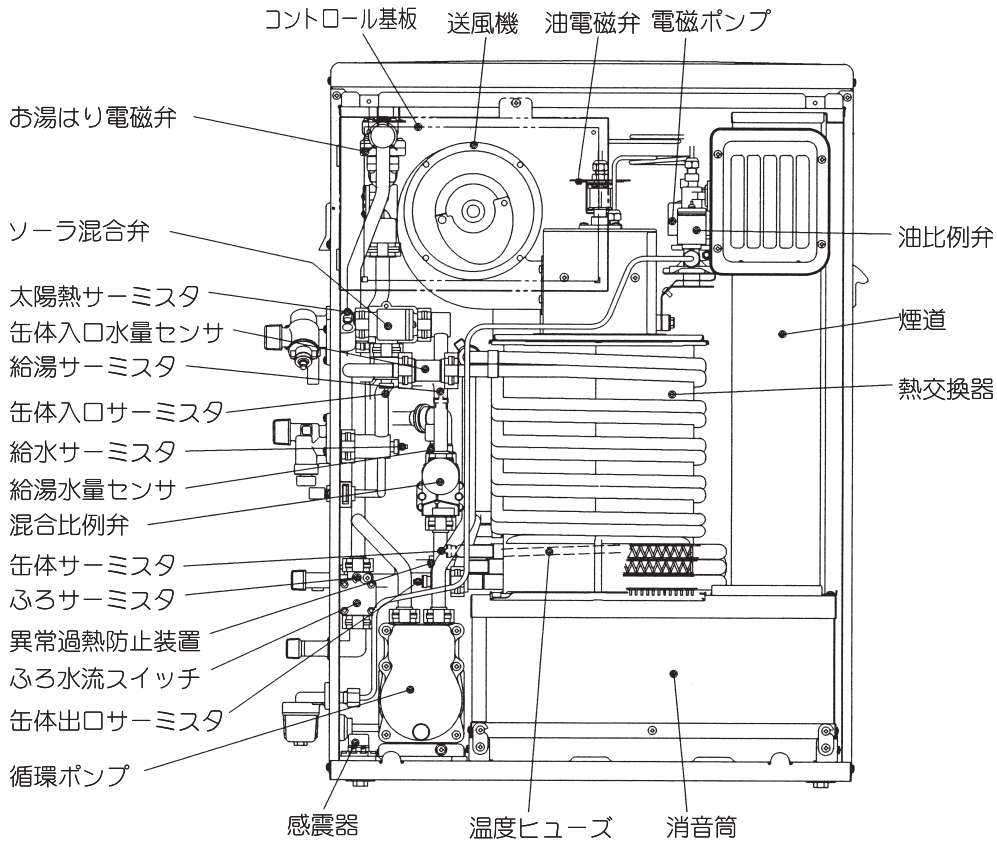
必ず行う

各部のなまえ

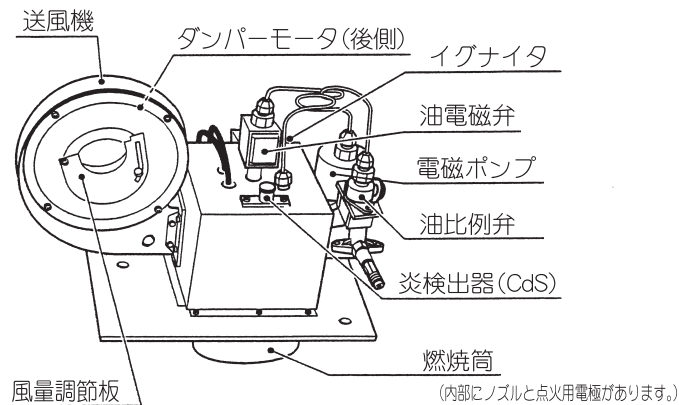
●外観図



●本体構造図

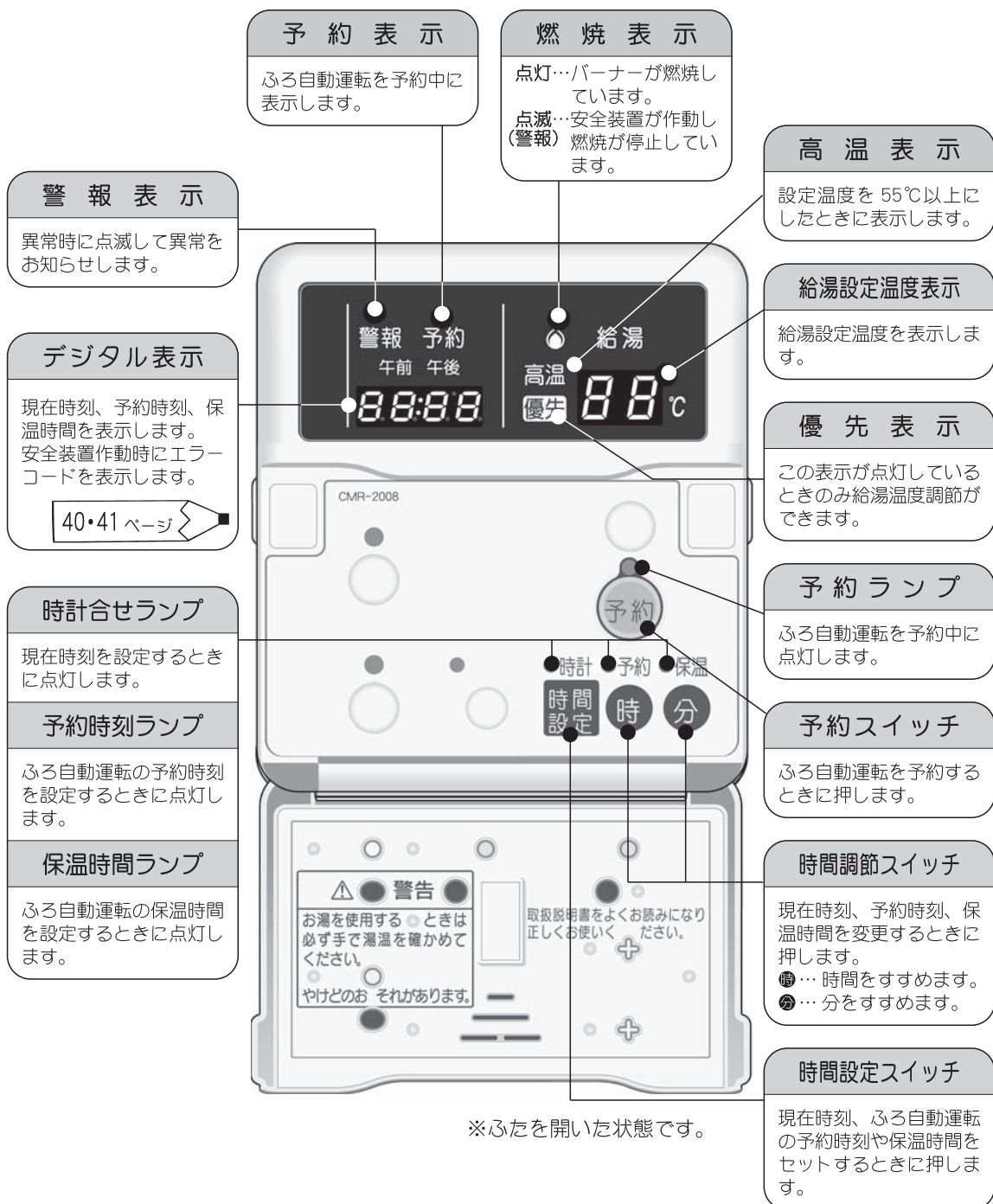


●バーナー部

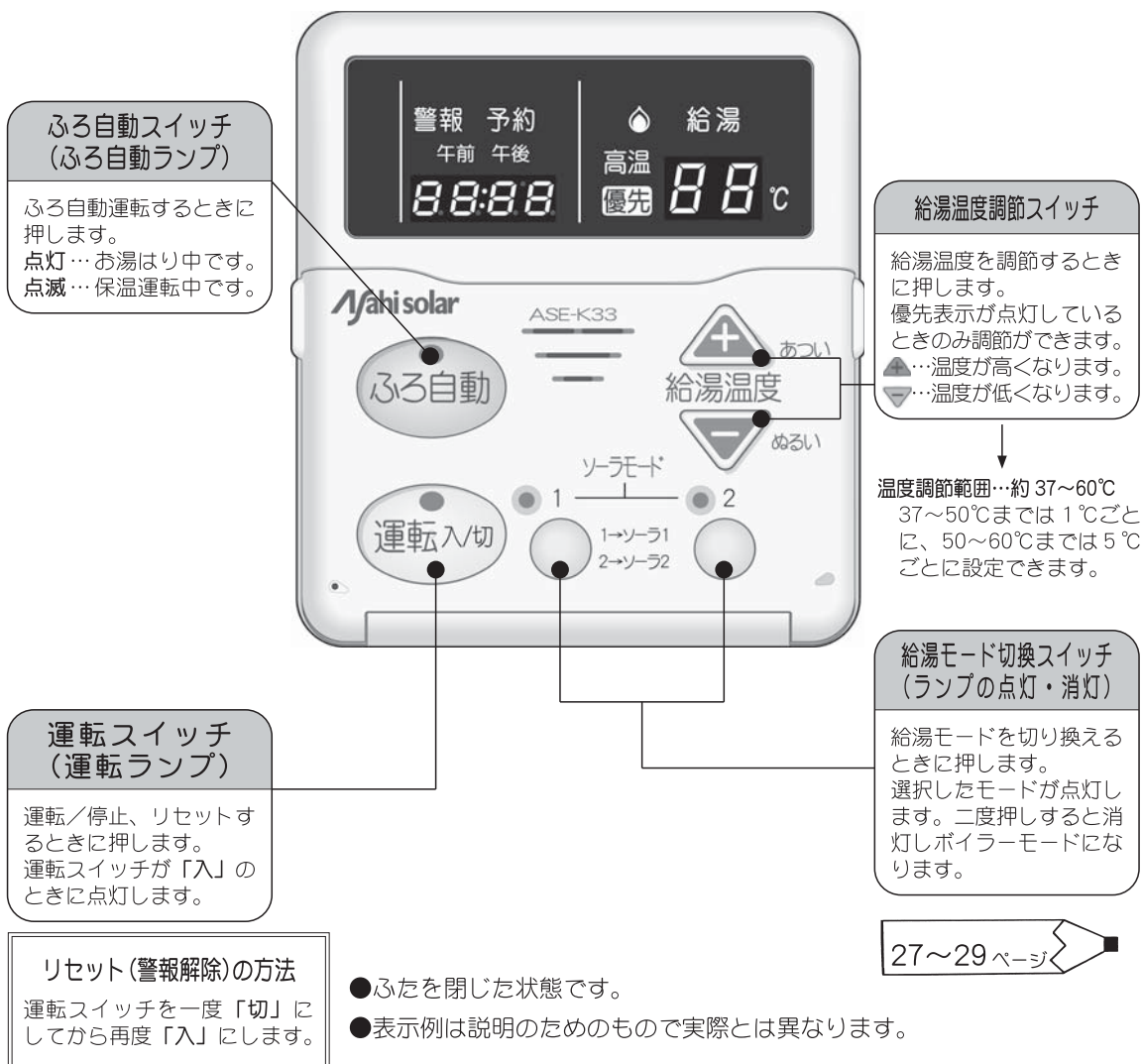


各部のなまえ

●メインリモコン



●表示例は説明のためのもので実際とは異なります。



各部のなまえ

●ふろリモコン

たし湯スイッチ (たし湯ランプ)

浴そうにたし湯するときに押します。たし湯スイッチが「入」のときに点灯します。

ぬるめスイッチ (ぬるめランプ)

浴そうに給水するときに押します。ぬるめスイッチが「入」のときに点灯します。

運転スイッチ (運転ランプ)

運転／停止、リセットするときに押します。運転スイッチが「入」のときに点灯します。

リセット(警報解除)の方法

運転スイッチを一度「切」にしてから再度「入」にします。

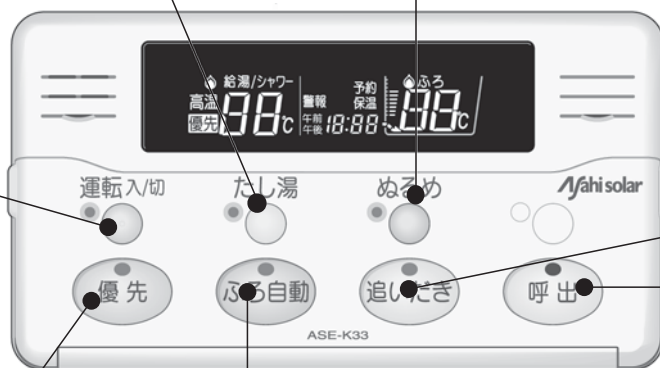
優先スイッチ (優先ランプ)

ふろリモコンで給湯温度を調節するときに押します。このランプが点灯しているときのみ給湯温度調節ができます。

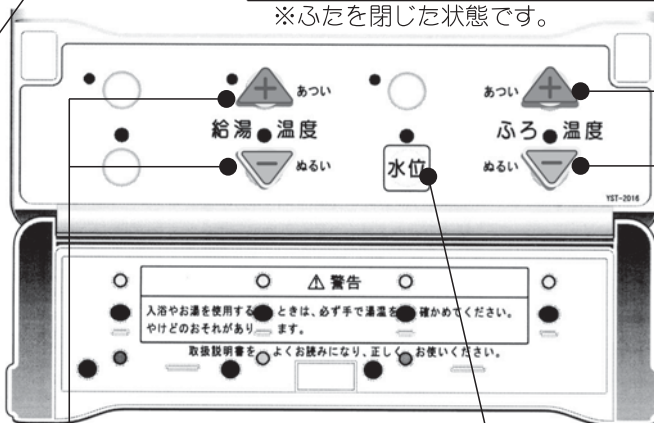
給湯温度調節スイッチ

給湯温度を調節するときに押します。優先表示が点灯しているときのみ調節ができます。
▲…温度が高くなります。
▼…温度が低くなります。

温度調節範囲…約37～60℃
37～50℃までは1℃ごとに、50～60℃までは5℃ごとに設定できます。



※ふたを閉じた状態です。



※ふたを開いた状態です。

●表示例は説明のためのもので実際とは異なります。

表示部

追いだきスイッチ (追いだきランプ)

追いだきするときに押します。
追いだきスイッチが「入」の
ときに点灯します。

呼出スイッチ (呼出ランプ)

メインリモコンを呼び出す
ときに押します。呼出ランプが
3秒間点灯します。

ふろ自動スイッチ (ふろ自動ランプ)

ふろ自動運転するときに押し
ます。
点灯…お湯はり中です。
点滅…保温運転中です。

ふろ温度調節スイッチ

ふろ自動運転、追いだき運転、
たし湯運転の温度を調節する
ときに押します。
▲…温度が高くなります。
▼…温度が低くなります。

温度調節範囲…約 35～48℃
1℃ごとに設定できます。

水位スイッチ

ふろ自動運転で、浴そうの水
位を設定するときに押します。
押すと水位が増します。

警 報 表 示

異常時に点滅して異常を
お知らせします。

給湯燃焼表示

点灯…バーナーが給湯燃
焼しています。
点滅…安全装置が作動し
(警報)で燃焼が停止して
います。

給湯温度表示

給湯設定温度を表示しま
す。

優 先 表 示

この表示が点灯してい
る
ときのみ給湯温度調節が
できます。

時 刻 表 示

現在時刻を表示します。
安全装置作動時にエラー
コードを表示します。

40・41 ページ

高 温 表 示

設定温度を 55℃以上
にしたときに表示します。

保 温 表 示

保温運転中に表示します。

予 約 表 示

ふろ自動運転を予約中に
表示します。

水 位 表 示

ふろ自動運転で設定した
浴そうの水位を表示しま
す。

ふろ燃焼表示

バーナーがふろ燃焼して
いるとき表示します。

ふろ温度表示

ふろの設定温度（沸き上
げ温度）を表示します。
水位設定時に水位（1～
10）を表示します。

お湯はり表示

ふろ自動運転やたし湯運
転、ぬるめ運転時に浴そ
うにお湯・水を入してい
るときに表示します。



使用前の準備

燃料

燃料は灯油（JIS 1 号灯油）を必ず使用してください。



禁止

警告

ガソリン、ベンジン、シンナー、重油、軽油やその他のものが混入した灯油は火災・故障の原因になりますので、絶対に使用しないでください。

注意

変質灯油や不純灯油は使わない。



禁止

変質灯油や不純灯油は絶対に使用しないでください。異常燃焼や故障の原因になることがあります。

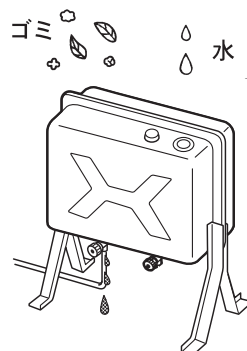
給油

給油は必ず消火を確かめてから行ってください。

1 給油の際の注意



禁止



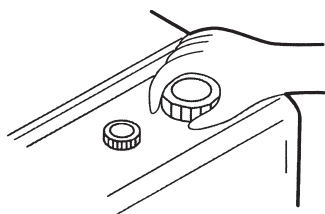
給油の際に水、ゴミなどを入れないように特に注意してください。

水、ゴミなどは燃焼不良やバーナーの寿命低下などの原因になります。

2 給油口ふたは確実に締める



必ず行う

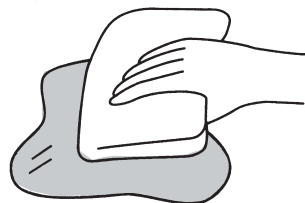


給油口ふたは確実に締めてください。

3 こぼれた灯油はふきとる



必ず行う



こぼれた灯油はよくふきとってください。

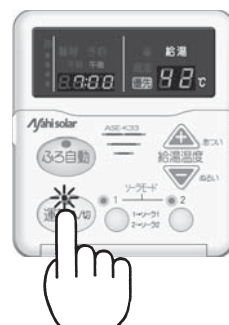
4 燃料切れの注意と送油経路の 空気抜きの方法

油タンクを空にしないように注意してください。
空にした場合は油タンクに給油した後リセットしてください。
(リセットすることにより、送油経路の空気抜きが行われます。)

42 ページ

リセットしても点火しない場合は、何度もリセットを繰り返すと危険ですので、販売店にご連絡ください。

- 試運転時に機器内の空気が抜けるまで振動音が出たり、着火しないで警報になることがありますが故障ではありません。
警報になった場合はリセットしてください。
- 何度も空運転すると、電磁ポンプの寿命が短くなります。



使用前の準備

点火前の準備と確認

1 給水および水漏れの確認

- (1) 給湯じゃ口を開き、じゃ口から水が出ることを確認してください。
- (2) 機器や接続部から水漏れしていないか確認してください。
- (3) 浴そうの排水栓は水漏れのないようにしっかりつけてください。
- (4) 追いだき運転、たし湯運転をする場合は浴そうの水位を確認してから運転してください。
必ず浴そうの循環口から10cm以上給水してください。

20・25ページ

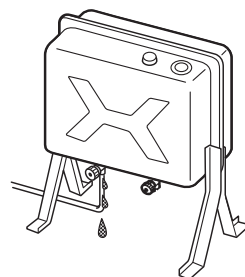
2 送油経路の点検



必ず行う

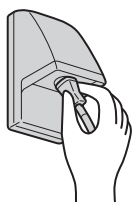


注意



油タンクや送油管の接合部などから油漏れがないことを確認してください。

3 電源プラグの確認



必ず行う

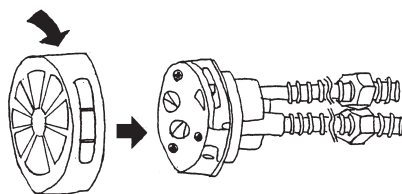


注意

濡れた手危険

電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。

4 フィルタの確認



浴そうの循環口フィルタが取り付けられていることを確認してください。

5 機器周辺の確認



警告

必ず行う

- 本体の上や周囲にものを置かないでください。
- 排気口の前にものが置かれていないか確認してください。

6 排気吹出し方向を変えたい時

排気吹出し方向に植木や窓などがあって排気の吹出し方向を変えたい時は、別販の排気カバー（VK-HH-2）を使用してください。

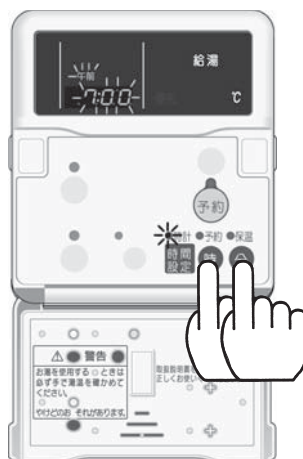
現在時刻の設定

1 メインリモコンの時間設定スイッチを1回押す



時計合わせランプが点灯し時刻表示が点滅します。

2 時間調節スイッチで現在時刻を設定する



「分」は押し続けると10分ずつ変わります。

3 時間設定スイッチを3回押す



現在時刻の設定が完了します。
10秒経過またはふたを閉めることでも設定が完了します。
運転スイッチを「入」にしたときに、ふろリモコンに現在時刻が表示されます。

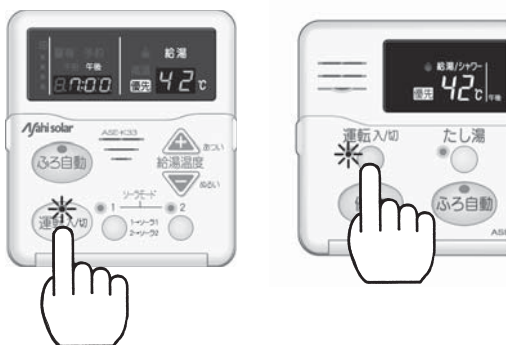
お知らせ

- 停電や電源プラグを抜いたときは現在時刻を合わせてください。
- 時計の精度は月差で30秒以内です。

使用方法

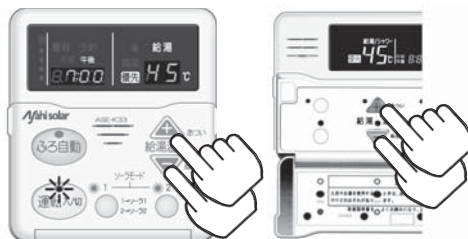
給湯

1 運転スイッチを押す



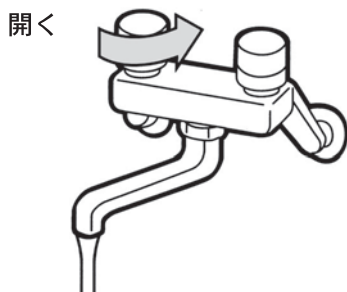
運転ランプが点灯します。
運転スイッチを押したリモコンの優先表示が点灯します。

2 給湯温度調節スイッチを押す



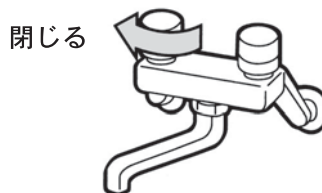
優先表示の点灯しているリモコンで温度調節ができます。設定温度は約 37～60℃の範囲で調節できます。37～50℃までは 1℃ごとに、50～60℃までは 5℃ごとに設定できます。設定温度が 55℃以上になると高温表示が点灯します。メインリモコンを「優先」にするには、ふるリモコンの優先スイッチを「切」にしてください。

3 給湯じゃ口を開く



自動的にバーナーが点火し、給湯燃焼表示が点灯してお湯が出ます。お湯を出す量が少ないときは点火しないことがあります。

4 給湯じゃ口を閉じて停止する



自動的にバーナーが消火し、給湯燃焼表示が消灯します。
次回お使いになるときはそのまま給湯じゃ口を開くだけで使用できます。
長時間使用しないときはどちらかの運転スイッチを「切」にしてください。

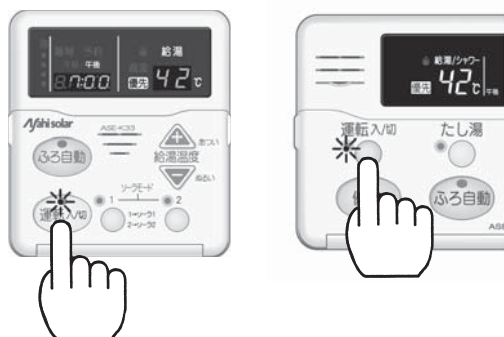
⚠ 注意

シャワーを使用中に給湯温度を変更しないでください。突然熱湯が出てやけどをするおそれがあります。給湯温度を変更するときは他の場所で使用していないことを確認してから行ってください。

- サーモスタット付混合水栓を使用しているときは、リモコンでの温度調節を低い温度に設定すると希望の温度にならないことがあります。このようなときにはリモコンの設定温度を混合水栓のご希望の温度より 10～15℃高い温度に設定してください。

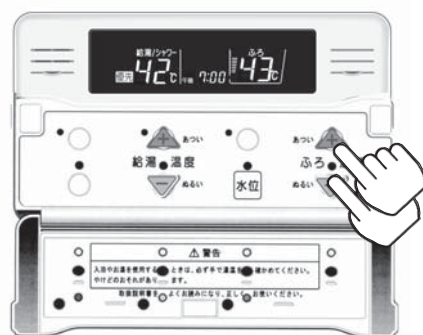
追いだき

1 運転スイッチを押す



運転ランプが点灯します。運転スイッチを押したリモコンの優先表示が点灯します。

2 ふろ温度調節スイッチを押す



設定温度は約 35～48℃の範囲で調節できます。

3 追いだきスイッチを押す



追いだきランプが点灯し、燃烧中はふる燃烧表示が点灯します。

4 追いだき終了

設定温度になると自動的に追いだきを終了します。

お知らせ

- 途中で停止するときはふろリモコンの追いだきスイッチ、またはどちらかのリモコンの運転スイッチを「切」にしてください。
- 給湯運転中に追いだきをすると、じゃ口のお湯の量が減ることがあります。
- ふろのお湯が冷めた場合はぬるい湯を抜いて給湯するよりも、追いだきするほうが経済的です。
- ソーラ1モードで給湯中は追いだきをしません。給湯が終わると追いだきをします。

⚠ 注意

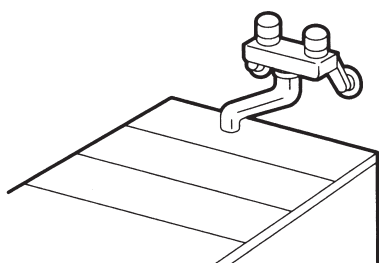
- 追いだき運転、たし湯運転をするときには浴そうの水が循環口より約 10 cm以上ある状態で使用してください。
- 追いだき中やその直後は、一瞬熱いお湯が出ることがありますのでご注意ください。

使用方法

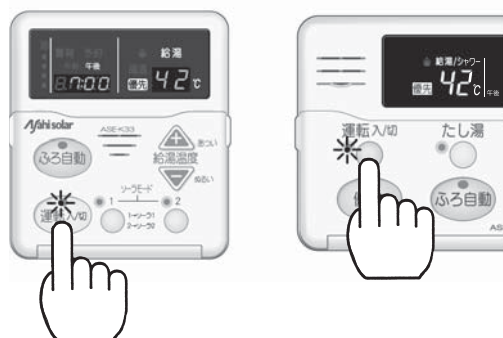
ふろ自動運転

自動的に浴そうにお湯をはり《自動お湯はり》、その後はお湯が冷めたら沸き上げを繰り返し、保温を行う運転です。

1 浴そうの排水栓とふたをする

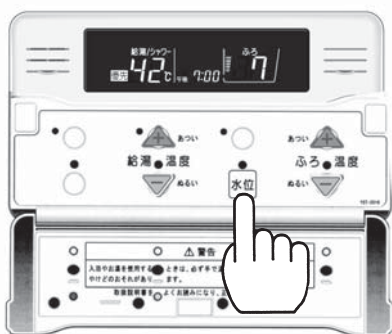


2 運転スイッチを押す



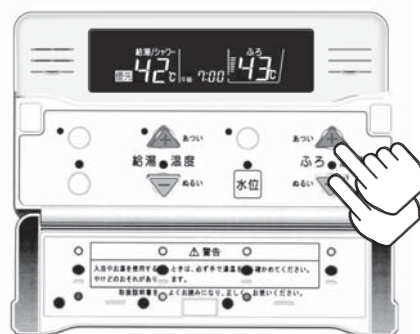
運転ランプが点灯します。運転スイッチを押したりリモコンの優先表示が点灯します。

3 水位スイッチで浴そうの水位を合わせる



水位は循環口の高さから、一段目が約30L、二段目からは一段ごとに約25Lずつ増えます。ふろ温度表示部に水位(1~10)を表示します。

4 ふろ温度調節スイッチを押す

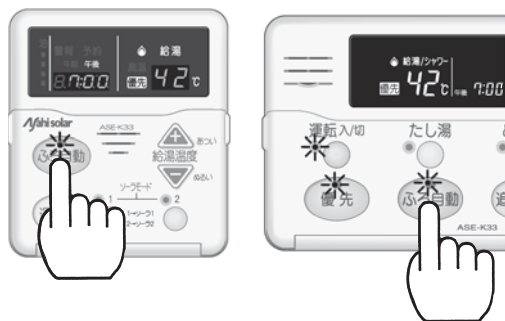


設定温度は約35~48℃の範囲で調節できます。

設定した水位、温度になったら



5 ふろ自動スイッチを押す



ふろ自動ランプ、お湯はり表示が点灯し、お湯はりを始めます。
残り湯の有無を検知するため、お湯はり・停止を数回繰り返します。

6 ふろ自動運転終了

設定した水位までお湯はりすると自動的に停止し、設定温度まで沸き上げると、メインリモコンのブザーで自動お湯はり完了のお知らせをします。

自動お湯はり完了後、保温を開始します。保温中はふろ自動ランプが点滅します。保温中はお湯が冷めたら沸き上げをしてふろ設定温度に保ちます。

途中で停止するときはどちらかのリモコンのふろ自動スイッチまたは運転スイッチを押して「切」にしてください。保温時間を経過すると、自動的にふろ自動運転を終了します。

お知らせ

- ソーラ1モードの場合、ふろ自動運転によるお湯はり完了と同時にふろ自動運転を終了します。ふろ温度がふろ設定温度に達していなくても沸き上げは行いません。
- ソーラ1モードの場合、お湯はり完了後、保温は行いません。
- 次回からは「1」・「2」・「5」を行うだけでふろ自動運転を開始しますが、やけど防止のためふろ設定温度も確認してください。
- 一度水位を設定すると、毎回同じ量でお湯はりができます。ただし、残り湯がある場合は水位が変わることがあります。
- ふろを沸き上げる場合は水から沸き上げるよりも、ふろ自動運転のほうが時間も早く経済的です。
- ふろ自動運転のお湯はり時間は給湯温度によって、夏期は短く冬期は長くなります。
- 保温運転中は約20分に一度循環ポンプが作動して浴そう内の湯温を検知し、湯温が低いときはふろ設定温度まで追いきします。
- 保温時間は工場出荷時に4時間に設定されています。メインリモコンで保温時間を変更することができます。
- お湯はり中に給湯するとお湯はりは一時的に停止します。給湯量が少ない場合は、お湯はりが一時的に停止しないことがあります。
- 洋風バスなど浅い浴そうや循環口の位置によっては、水位設定を高めにするると浴そうからお湯があふれる場合があります。
- 試運転時（設置後最初に運転する時のみ）に、浴そうにお湯（水）が入っている状態で、ふろ自動運転をしようするとエラーコード「P6」が出てお湯はり量の設定が正しくできません。正しく設定するために、浴そうが空の状態ですぐにふろ自動運転を行ってください。
- 氷点下で長時間設置された状態からの最初の通電及び試運転時に、まれに自動お湯はりすると「E0」が表示されることがあります。運転スイッチを切って入れ直し再度自動運転を行ってください。

24 ページ

使用方法

予約運転のしかた

ふる自動運転の予約ができます。
他の運転を予約することはできません。

1 運転スイッチを押す



運転ランプ、優先表示が点灯します。

2 時間設定スイッチを2回押す



予約時刻ランプが点灯し、時刻表示と予約表示が点滅します。

3 時間調節スイッチで予約時刻を設定する



「分」は押し続けると10分ずつ変わります。

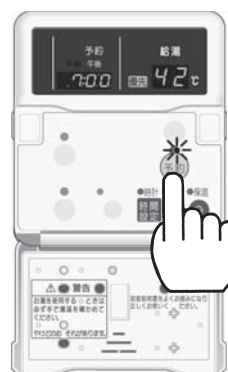
4 時間設定スイッチを2回押す



予約時刻設定が完了します。
操作部のふたを閉じて同じように予約時刻の設定が完了します。

5 予約スイッチを押す

予約ランプ、予約表示が点灯して予約運転の設定が完了します。
予約設定時刻の約30分前にふる自動運転を始めます。



予約運転の解除



メインリモコンの予約スイッチまたは運転スイッチを押すと予約運転が解除されます。

お知らせ

- 現在時刻が合っていることを確認してください。現在時刻を合わせていないと、予約運転はできません。
- お湯はりの水位や沸き上げ温度はふろ自動運転と同じ設定になります。
- 予約中は運転スイッチを「切」にしないでください。
「切」にすると予約が解除されます。
- 予約中に停電すると予約が解除されます。
- 次回からは「1」と「5」を行うだけで同じ時刻にふろ自動運転を開始します。

保温時間の変更

出荷時に保温時間は4時間に設定されています。

1 時間設定スイッチを3回押す



保温時間ランプが点灯し、時刻表示が点滅します。

2 保温時間設定



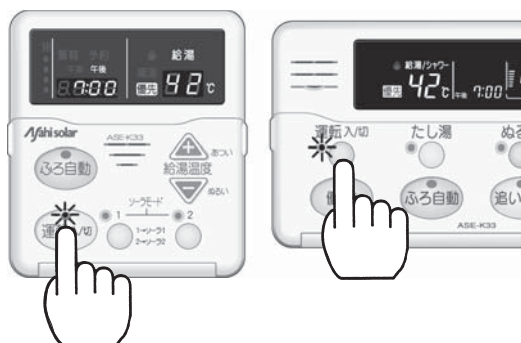
- (1) メインリモコンの時間調節スイッチでご希望の保温時間に設定します。設定時間は「時」を押すと時間がかわり、「分」を押すと0分と30分が交互に表示されて、0～24時間まで設定できます。
- (2) 時間設定スイッチを1回押します。保温時間の設定が完了します。保温時間ランプは消灯します。10秒経過またはふたを閉めることで設定が完了します。

使用方法

たし湯運転

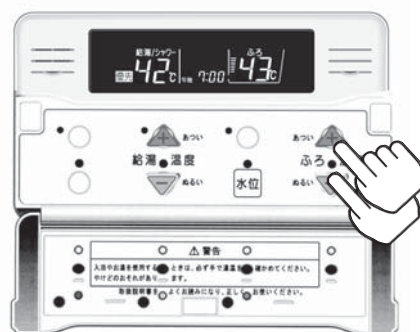
ふろ設定温度で約 20 リットルをたし湯し、ふろ設定温度になるまで沸き上げます。

1 運転スイッチを押す



運転ランプ、優先表示が点灯します。

2 ふろ温度調節スイッチを押す



設定温度は約 35～48℃の範囲で調節できます。

3 たし湯スイッチを押す



たし湯ランプとお湯はり表示が点灯し、たし湯を始めます。

4 たし湯運転終了

約 20 リットルのお湯をたした後、ふろ設定温度まで沸き上げると自動的にたし湯運転を終了します。

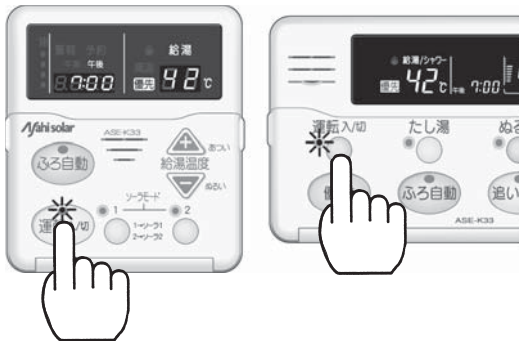
お知らせ

- 途中で停止するときはふろリモコンのたし湯スイッチ、またはどちらかのリモコンの運転スイッチを「切」にしてください。
- たし湯運転中に給湯すると、たし湯運転は一時停止します。給湯量が少ない場合は、たし湯運転が一時停止しないことがあります。
- ソーラ 1 モードの場合、約 20 リットルのお湯をたした後、ふろ温度がふろ設定温度に達していなくても沸き上げは行わずに、たし湯運転を終了します。

ぬるめ運転

約 10 リットルの水を給水してふろの温度を下げます。

1 運転スイッチを押す



運転ランプ、優先表示が点灯します。

2 ぬるめスイッチを押す



ぬるめランプ、お湯はり表示が点灯します。

3 ぬるめ運転終了

約 10 リットルの水を給水すると自動的にぬるめ運転を終了します。

お知らせ

- 途中で停止するときはふろリモコンのぬるめスイッチ、またはどちらかのリモコンの運転スイッチを「切」にしてください。
- ぬるめ運転終了後の湯温は、浴そうのお湯の温度と給水温度によって異なります。
- ぬるめ運転中に給湯すると、ぬるめ運転を終了します。
- 給湯使用中はぬるめスイッチを押しても受け付けません。
- ぬるめ運転中もしくはその後の給湯は最初に水が出ます。

使用方法

給湯モードの切替について

この給湯機は太陽熱温水器対応タイプです。

給湯モードの切替により、太陽熱温水器と水道水の選択を行うことができます。

給湯モードの切替かた

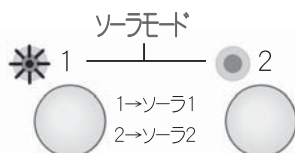
■給湯モード切替スイッチを押すと

ソーラ1、ソーラ2、ボイラー

の選択ができます。

ランプが点灯したモードが設定された給湯モードです。

(例)



	ランプ		季節	天気
ソーラ1	※ 1	● 2	夏	晴
ソーラ2	● 1	※ 2	春・秋	曇
ボイラー	● 1	● 2	冬	雨

●ボイラーモードは点灯しません。

■給湯モードと給湯回路の関係

給湯モード	給湯回路
ソーラ1	太陽熱温水器のお湯と水道水を使用します (燃烧加熱なし)
ソーラ2	太陽熱温水器のお湯と水道水を使用します (太陽熱温水器のお湯と水道水を自動混合し、 燃烧加熱して設定温度のお湯を給湯します)
ボイラー	水道水のみを使用 (燃烧加熱します)

お知らせ

- メインまたはふるリモコンの運転スイッチ「切」時は、じゃ口を開くと水道水が給水されます。

ソーラ 1 モード

- 太陽熱温水器が十分に昇温している場合（夏期及び中間期・晴天日など）有効なモードです。
- 太陽熱温水器のお湯と水道水を自動混合し、設定温度のお湯を給湯します。（太陽熱温水器の湯温が給湯機の設定温度より高いとき。）
- 3種類の給湯モードの中で最も省エネのモードです。

使 い 方

- 太陽熱温水器のお湯が給湯機の設定温度より高いとき、ふろ自動運転によるお湯はりやシャワー及び台所の給湯は、リモコンの温度設定で適温のお湯が得られます。
- 強いシャワー圧を得る場合は、リモコンの温度設定を高温設定にし、カランで湯水混合してご使用ください。
- 太陽熱温水器のお湯が給湯機の設定温度より低いとき、ぬるい湯又は冷たい水がそのままできますので、ソーラ 2 又はボイラーモードで、燃焼加熱してご使用ください。

お知らせ

- 太陽熱温水器のお湯が給湯機の設定温度以下になると、ふろ自動運転によるお湯はりやシャワー及び台所の給湯温度も下がります。その時は、リモコンの設定温度と給湯温度は一致しません。

ソーラ 2 モード

- 太陽熱温水器の昇温が不十分な場合（春、秋、くもりの日等）に有効なモードです。
- 太陽熱温水器のお湯と水道水を自動混合し、燃焼加熱して設定温度のお湯を給湯します。

使 い 方

- 太陽熱温水器のお湯の温度に関係なく、ふろ自動運転によるお湯はりやシャワー及び台所の給湯は、リモコンの温度設定で適温のお湯が得られます。
- 太陽熱温水器のお湯が給湯機の設定温度より高いときは、ソーラ 1 モードでご使用ください。（省エネに効果的です。）

お知らせ

- 太陽熱温水器のお湯の温度に応じて燃焼加熱します。
- 太陽熱温水器のお湯が設定温度より低くなってきた場合、お湯の出が少なくなる場合があります。



使用方法

ボイラーモード

- 太陽熱温水器が利用できない場合（冬期、雨の日及び太陽熱温水器の故障時等）に有効なモードです。
- 水道水を燃焼加熱して設定温度のお湯を給湯します。

使 い 方

- ふろ自動運転によるお湯はりやシャワー及び台所の給湯は、リモコンの温度設定で適温のお湯が得られます。
- 冬期や雨の日など太陽熱温水器のお湯が給湯機の設定温度より低いとき、太陽熱温水器の凍結でお湯がでないとき及び故障のときなどにご使用ください。
- 水道直圧式で強いシャワー圧が得られます。

お知らせ

- 太陽熱温水器の水は利用しません。

リモコンの優先について

優先表示が点灯しているリモコンでのみ給湯温度調節ができます。



注意

シャワーを使用中に給湯温度を変更しないでください。突然熱湯が出てやけどをするおそれがあります。給湯温度を変更するときは他の場所で使用していないことを確認してから行ってください。

ふろリモコンを優先にする場合

ふろリモコンの優先スイッチを押す



- 優先ランプ、優先表示が点灯して給湯温度調節ができるようになります。
- 再度優先スイッチを押すとふろリモコンの優先が解除され、メインリモコンが優先になります。

給湯量と給湯温度の早見表（ボイラーモード運転の場合）

- 給湯量と給湯温度との関係は下表がめやすになります。
最大給湯量は約 20L/分、最小給湯量は約 3L/分です。
- ソーラ 1、ソーラ 2 モード運転の場合の給湯量と給湯温度の目安は諸条件により変化します。

給湯使用時

給 湯 量 (L/分)			
給湯温度	給 水 温 度		
	5 °C (冬期)	15 °C (春期・秋期)	25 °C (夏期)
37°C	約 20	約 20	約 20
45°C	約 16		
55°C	約 13	約 16	

給湯・ふろ同時使用時

給 湯 量 (L/分)			
給湯温度	給 水 温 度		
	5 °C (冬期)	15 °C (春期・秋期)	25 °C (夏期)
37°C	約 16	約 20	約 20
45°C	約 12	約 17	
55°C	約 10	約 12	約 17

使用方法

停電後の使用方法

- 一度電源が切れると再通電後は運転を行いません。
どちらかのリモコンの運転スイッチを「入」にしてそれぞれの運転を行ってください。
- 停電後は設定した温度や予約時刻は記憶していますが、現在時刻は設定し直してください。
- 停電中は給湯じゃ口を閉じてください。

18 ページ

長期間使用しないとき

- 長期間使用しないときは凍結予防の「③ 機器内の水を抜く方法」に従って水抜きを行ってください。

34・35 ページ

冬期に停電したとき

- 凍結により機器が破損するおそれがありますので、凍結予防の「② 給湯じゃ口から水を流す方法」または「③ 機器内の水を抜く方法」に従って凍結予防を行ってください。

33～35 ページ

地震などの被害があったとき

- 電源プラグを抜いて、機器の被害を確認し、お買い求めの販売店へご連絡ください。

使用上の注意



注意

1 排気部に注意

排気部は高温です。手など触れないように注意してください。
やけどのおそれがあります。

2 安全装置が作動したときは

安全装置が作動したときは、この説明書のP 36・37に従って処置をしてください。
処置をしないで何度もリセットを繰り返さないでください。
火災・事故の原因になります。

36・37 ページ

3 みだりに飲用に用いないでください

機器内や配管内に長時間たまっていた水やお湯は、使用水の水質、配管材料の劣化、水あかなどにより水質が変わることがありますので、飲用または調理には用いないでください。

4 油切れに注意

油タンクを空にしないように注意してください。
何度も空運転すると、電磁ポンプの寿命が短くなります。

5 日常の点検・手入れを行う

38・39 ページ

6 入浴剤・洗剤に注意

イオウ、酸、アルカリを含んだ入浴剤や洗剤は、熱交換器が腐食する原因になりますので、使用しないでください。

7 浴そうの水位が上昇するときは

ふろ自動運転（お湯はり）とたし湯運転、ぬるめ運転以外で浴そうの水位が上昇するときは、すぐに使用を中止し、販売店に連絡して点検または修理を受けてください。

使用方法

凍結予防

- 冬期には寒冷地だけでなく暖かい地方でも急な寒波のために、機器や配管が凍結して破損することがあります。冬期には充分注意してください。
- ふろ配管の凍結を予防するために、ふろ配管も必ず保温してください。

1 凍結予防装置による方法（自動）

1 電源プラグの確認



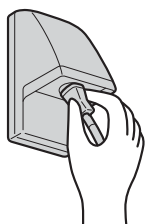
必ず行う



注意

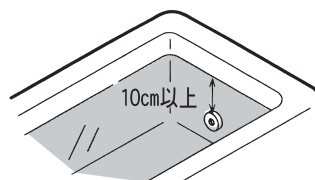
電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。

凍結予防ヒータにより機器内の給水経路を保温します。



濡れた手危険

2 浴そう水位を確認



必ず循環口より約 10cm以上給水してください。

浴そう内の水を循環させ、機器内のふろ経路と配管の凍結を予防します。

冷え込みが厳しい場合は凍結予防装置だけでは効果がありませんので、「2」「3」の処置を行ってください。

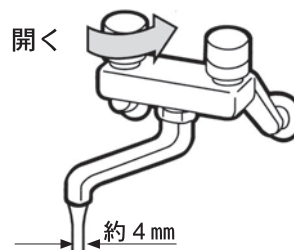
2 給湯じゃ口から水を流す方法

「1 凍結予防装置による方法」も必ず同時に行ってください。

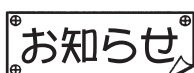
1 運転スイッチを「切」にする



2 給湯じゃ口を開く



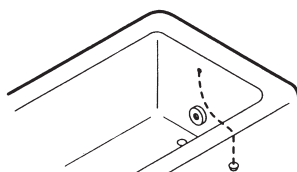
給湯じゃ口を開き、1 分間に 400cc 程度（約 4 mm）の水を流したままにします。



- 機器だけでなく、配管・バルブなどの凍結予防にもなります。
- 流量が不安定なことがありますので、30 分後にもう一度確認してください。

3 機器内の水を抜く方法（凍結予防装置は作動しません。）

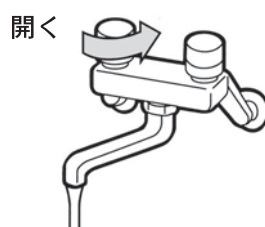
1 浴そうの水を排水する



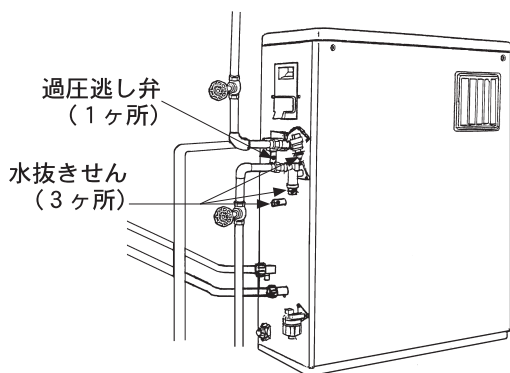
2 給水元栓を閉じる



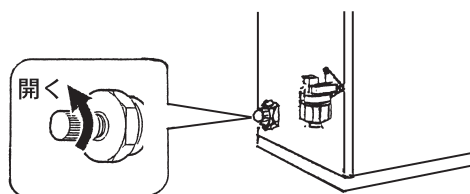
3 給湯じゃ口を開く



4 過圧逃し弁（1ヶ所）、 水抜きせん（3ヶ所） をはずす。

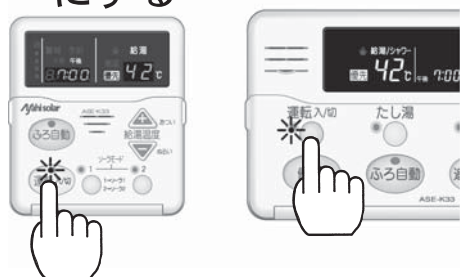


5 排水せんを開く

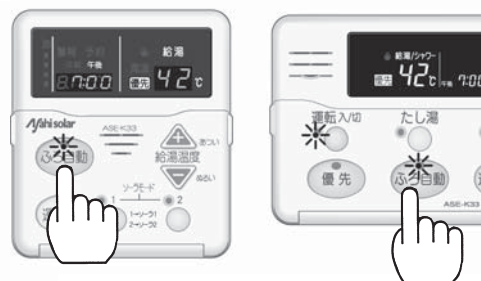


使用方法

6 運転スイッチを「入」にする



7 ふろ自動スイッチを押す

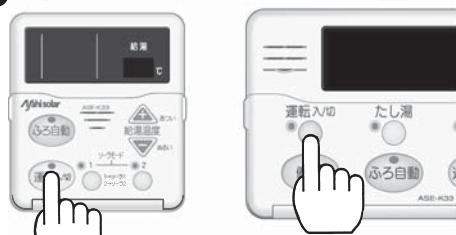


8 追いだきスイッチを押す



追いだきスイッチを押して、配管内の水を出してください。

9 運転スイッチを「切」にする



循環口から水が出なくなったら、運転スイッチを「切」にしてください。

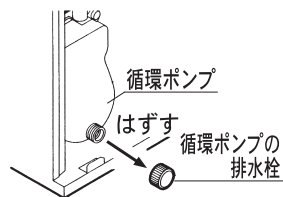
10 電源プラグを抜く



電源プラグを抜く

送風機が停止してから、電源プラグを抜いてください。

11 循環ポンプの排水栓をはずす



前パネルをはずしてから行ってください。
また、循環ポンプの排水栓をはずした後、
前パネルを元通りに取り付けてください。

お知らせ

- 配管・バルブ等の凍結予防はできませんが、機器には最も適した方法です。
- 再度使用する場合は排水栓を閉じ、過圧逃し弁・水抜きせん・循環ポンプの排水栓を元通りに取り付け、給水元栓を開いて「運転再開始時の注意」を確認してください。その後、「使用前の準備」・「使用方法」に従って使用してください。
- 氷点下で長時間置かれた状態からの再通電及び通水時、まれに自動お湯はりすると「E0」が表示されることがあります。運転スイッチを切って入れ直し再度自動運転を行ってください。

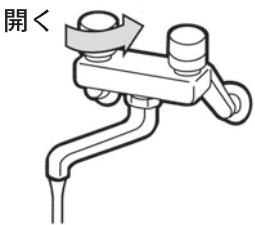
15～30 ページ

運転再開時の注意

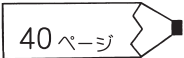
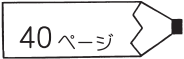
- 機器を運転する前には必ず次のことを確認してください。
確認しないで運転すると機器が破損することがあります。

給湯じゃ口を開く

給湯じゃ口を開いて、水が出てくるか確認してください。
水が出にくいときには凍結していますので、水が正常に出るようになってから運転してください。

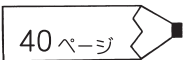
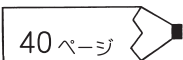


安全装置

安全装置	はたらき	装置が作動したあとは
対震自動消火装置 (感震器)	地震や強い振動、衝撃を受けたときに作動して自動消火します。 エラーコード「 P3 」を表示してお知らせします。 	周囲の可燃物、機器の損傷、油漏れ、水漏れなど異常がないことを確認して、リセットしてください。リセットしても直らない場合はお買い求めの販売店にご連絡ください。
燃焼制御装置 (制御基板)	バーナーが着火ミスや失火、異常燃焼したときに作動して自動消火します。 エラーコード「 E1 」または「 E3 」を表示してお知らせします。 	エラーコードに従ってを処置してリセットしてください。リセットしても直らない場合はお買い求めの販売店にご連絡ください。
停電安全装置	使用中に停電したり、電源プラグが抜けたときに作動して自動消火します。	再通电後は運転停止になりますので、再使用時はリモコンの運転スイッチを「入」にしてください。

※リセット(警報解除)の方法…リモコンの運転スイッチを一度「切」にしてから再度「入」にします。

その他の装置

その他の装置	は た ら き	装置が作動したあとは
異常過熱防止装置	サーミスタ、燃焼制御装置の故障、空だき等により熱交換器が異常に過熱したときに作動して自動消火します。 エラーコード「E4」を表示してお知らせします。 	電源プラグを抜き、お買い求めの販売店にご連絡ください。
温度ヒューズ (185℃)		
凍結予防装置	機器内の給水経路が凍結しないように凍結予防ヒータが自動的に作動し、保温します。	機器を運転した場合や凍結のおそれなくなると自動的に切れます。
	機器内が約3℃以下になると、浴そうの内の水を循環させ、機器内のふろ経路とふろ配管の凍結を予防します。	凍結のおそれなくなると自動的に切れます。
電流ヒューズ (10 A)	万一内部配線のショートなどで過電流が流れたときに、ヒューズが切れて自動消火します。 送風機ヒューズが切れたときはエラーコード「E7」を表示してお知らせします。 	お買い求めの販売店にご連絡ください。
送風機ヒューズ (3 A)		
過圧逃し弁	熱交換器内の圧力が異常に上昇したときに作動して、圧力を外部に逃して熱交換器を保護します。	給湯じゃ口を閉じたときまたは追いだきしたときに少量出る場合は故障ではありません。連続して漏れる場合はお買い求めの販売店にご連絡ください。

日常の点検・手入れ

点検・手入れのときの注意

⚠ 注意

- 点検・手入れは必ず消火後、機器が冷えてから電源プラグを抜いて行ってください。
- 点検・手入れの際は金属部に充分注意してください。ケガの原因になることがあります。
- 部品の分解・調整は絶対にしないでください。
- 異常がある場合は販売店にご連絡ください。

点検・手入れの時期、必要項目、方法

毎日

周囲の可燃物

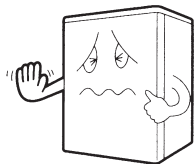


必ず行う



注意

機器、排気部および油タンクの周囲に可燃物や、危険物がないか確認してください。



油漏れ、油のたまり、油のにじみ

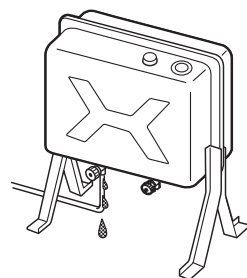


必ず行う



注意

機器や油タンクの送油経路、特に接合部などに油漏れ、油のたまり、油のにじみがないか確認してください。



機器の周囲



警告

- 本体の上や周囲にもものを置かないでください。
- 排気口の前にものが置かれていないか確認してください。

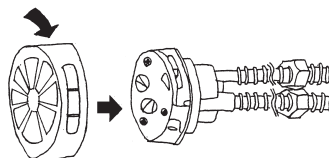


必ず行う

循環口フィルタの掃除

浴そうを掃除するときは、循環口フィルタもはずして掃除してください。

ゆるめる

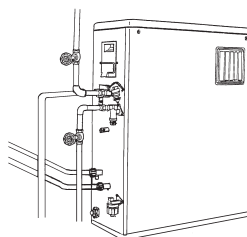


日常の点検・手入れ

適時に

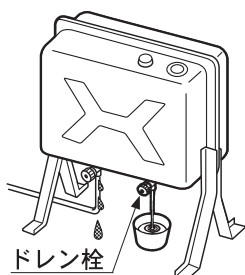
水漏れ

機器、配管などから水漏れしていないことを確認してください。



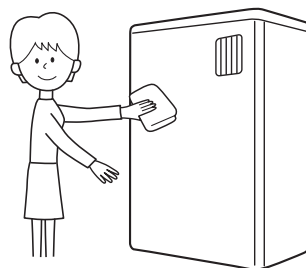
1年に1回以上

油タンク



油タンクに水がたまりやすいので、タンクのドレン栓を開いて必ず抜きとってください。ドレン栓の開閉はタンクによって異なります。

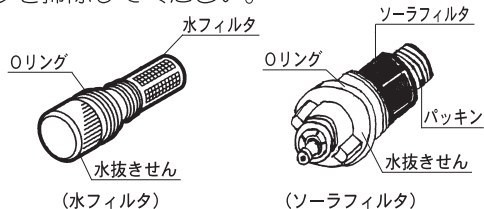
ホコリ



機器外面にホコリがたまっていたり、汚れていたら、布またはスポンジに中性洗剤をつけてふきとってください。

水フィルタ及びソーラフィルタの掃除

配管内のゴミが水フィルタにたまと湯が出にくくなりますので、定期的に水フィルタを掃除してください。



- (1) 給水元栓及び太陽熱温水器の止水栓を閉じます。
- (2) 水抜きせんについている水フィルタ（1ヶ所）及びソーラフィルタ（1ヶ所）を掃除します。水フィルタ及びソーラフィルタを変形させないように注意してください。
- (3) ソーラフィルタの逆止弁のパッキンを掃除します。
- (4) 水抜きせん（2ヶ所）を取り付け、給水元栓及び太陽熱温水器の止水栓を開いた後、給湯じゃ口を開き、配管内の空気を抜いてください。

ふろ熱交換器の掃除

ふろ熱交換器に湯あかがたまと熱交換が悪くなりますので、次の要領で掃除を行ってください。

- (1) 浴そうに水を入れたまま、浴そう掃除用中性洗剤を適量入れます。
- (2) ふろリモコンの運転スイッチと追いだきスイッチを「入」にして、ふろ追いだきを行います。
- (3) 追いだきが終わったら浴そうの水を抜き、アフが出なくなるまで何度か水を入れ換えて、追いだきを繰り返してください。

故障・異常の見分けかたと処置方法

- メインリモコンのデジタル表示部とふろリモコンの時刻表示部に故障・異常箇所をエラーコードで表示するとともに音が出ます。確認・処置後リセットしても直らないときはお買い求めの販売店にご連絡ください。

エラーコード	説 明	確 認 ・ 処 置
E0	お湯はりが正常にできない お湯はりが完了しない	お買い求めの販売店にご連絡ください。
E1	着火ミス	油タンクに油があることを確認後、リセットしてください。
E2	炎検出器異常	お買い求めの販売店にご連絡ください。
E3	途中失火	油タンクに油があることを確認後、リセットしてください。
E4	異常加熱防止装置作動 温度ヒューズ断線	お買い求めの販売店にご連絡ください。
E5	給湯サーミスタ異常	
E6	制御基板(記憶回路)異常	リセットしてください。リセットしても直らないときはお買い求めの販売店にご連絡ください。
E7	送風機異常	お買い求めの販売店にご連絡ください。
EF	太陽熱サーミスタ異常	
F2	缶体サーミスタ異常	
FS	ふろサーミスタ異常	
F8	追いだき時間オーバー	
F9	外気温サーミスタ異常	
P0	ふろ循環異常(追いだき中)	浴そうの水位を確認してください。
PF	ふろ循環異常(たし湯中)	
PH	ふろ循環異常(ふろ自動中)	
PC	ふろ循環異常	お買い求めの販売店にご連絡ください。
P1	ソーラー混合弁異常(下欄外参照)	
P3	耐震自動消火装置作動	機器および周囲に異常がないことを確認後、リセットしてください。リセットしても直らないときはお買い求めの販売店にご連絡ください。

※エラーコード「P1」・「P4」・「P8」は機器に通水する前に運転スイッチを入れると表示されることがあります。機器内の水を抜いた後は、機器に通水してからリセットしてください。

※リセット(警報解除)の方法…リモコンの運転スイッチを一度「切」にしてから再度「入」にします。

故障・異常の見分けかたと処置方法

エラーコード	説 明	確 認 ・ 処 置
P4	混合弁異常 (下欄外参照)	お買い求めの販売店にご連絡ください。
P5	給水サーミスタ異常	
P6	残り湯エラー	浴そうの水を抜き、再度ふろ自動運転を行ってください。
P8	水比例弁異常(下欄外参照)	電源プラグを差し直したのち、リセットしてください。直らない時は、お買い求めの販売店にご連絡ください。
H1	ダンパーモーター異常	お買い求めの販売店にご連絡ください。
H2	缶体出口サーミスタ異常	
H3	缶体入口サーミスタ異常	
H5	油サーミスタ異常	
H6	停電復帰検知	停電の有無を確認してください。
H7	給水温度異常検知	お買い求めの販売店にご連絡ください。
H8	高温出湯異常検知 (給湯サーミスタ)	
H9 HE	高温出湯異常検知 (缶体入口サーミスタ)	
HU	給水サーミスタ高温検知	
740 750 760	通信異常	電源プラグを差し直してください。 直らないときは、お買い求めの販売店にご連絡 ください。

※エラーコード「P1」・「P4」・「P8」は機器に通水する前に運転スイッチを入则表示されることがあります。機器内の水を抜いた後は、機器に通水してからリセットしてください。

※リセット(警報解除)の方法…リモコンの運転スイッチを一度「切」にしてから再度「入」にします。

サービスを依頼される前に

次のような場合は故障ではありません。サービスを依頼される前にもう一度確認してください。

現 象	説 明
お湯が白く見える	水中に溶けていた空気が分離して白く見えるためです。
湯温・湯量が不安定なことがある	他の給湯じゃ口を同時に使用するとお湯が熱くなったり、めるくなったり、湯量が少なくなることがあります。
給湯じゃ口を開いてもすぐにお湯が出ない	機器から給湯じゃ口までは距離があり、配管内には水が残っているため多少時間がかかります。
排気部から湯気が出る	排ガスが水蒸気を多く含んでいるため、冷たい外気に触れて白く見えるためです。
油を切らした後、給油しても火がつかない	油タンクに油があることを確認後、  16 ページ リセットしてください。
追いだきするとき、保温時に断続運転する。	設定温度になると運転を停止し、温度が下がると運転を行うためです。
お湯の出が悪くなった	水フィルタ、ソーラーフィルタ、じゃ口のフィルタにゴミが詰まっているためです。 掃除してください。  39 ページ
運転スイッチを「切」にしてもしばらくの間、送風機が回っている	燃焼室内の排ガスを排出するためです。
停電後、リモコンの表示が出ない	リモコンの運転スイッチを押して「入」にすると表示が出ます。
温度調節できない	リモコンの優先表示が点灯していないと温度を調節できません。
過圧逃し弁からお湯が出る	熱交換器内の圧力が上がりすぎないように、上昇した圧力を逃すためです。
循環が悪い	循環口フィルタにゴミが詰まっているためです。  38 ページ
寒いときに循環ポンプが作動する	循環ポンプの凍結を予防するために、機器内が約 3℃になると凍結予防装置により、循環ポンプが運転・停止を繰り返します。
リモコンの表面が熱く感じる	使用中は表示部などが点灯していますので、リモコン本体が熱く感じる場合があります。 リモコンの運転スイッチを「切」にしても電子回路が作動していますので発熱があります。
ソーラ 1、ソーラ 2 モードでお湯又は水が途中で出なくなる。	太陽熱配管の凍結や故障が考えられます。機器入口までの配管経路を確認してください。

部品交換のしかた

部品交換が必要になったときは、お買い求めの販売店に依頼してください。

- 部品は必ず Asahi 石油給湯機付ふろがま純正部品（指定された部品）を使用してください。
- 故障したままで使用しないでください。
- 不完全な修理は危険です。故障して修理が必要なときは、お買い求めの販売店に依頼してください。

定期点検

- 長期間ご使用になりますと、機器の点検が必要となります。
機器を安心して長くご使用いただくために、1年に1回程度は点検を受けることをお奨めします。
- この機器は給水用具（逆流防止装置）を内蔵しています。
機器を安心して長くご使用いただくために、給水用具（逆流防止装置）に関しては（社）日本水道協会発行の「給水用具の維持管理指針」に基づいて4～6年に1回程度は点検を受けることをお奨めします。
- 定期点検はお買い求めの販売店にご相談ください。（定期点検は有料です。）

仕 様

型 式 の 呼 び		A S E - K 3 3
種 類		圧力噴霧式・水道直結式・瞬間形・2缶2水路式・ 強制循環式・屋外用開放形
点 火 方 式		高圧放電式
最 低 作 動 水 量		3.0 ± 0.5 L / min
使 用 燃 料		灯油 (JIS 1号灯油)
燃 料 消 費 量	給湯側	5.3 L / h
	ふろ側	1.3 3 L / h
発熱量(入力)	ふろ側	4 9, 4 0 0 kJ / h (1 1, 8 0 0 kcal / h)
湯 沸 効 率	ふろ側	8 3.8 %
連続給湯効率	給湯側	8 6.0 %
連続給湯出力	給湯側	4 6.5 kW (40, 000 kcal / h)
熱交換器容量	給湯側	1.0 L
	ふろ側	1.1 L
最 高 使 用 圧 力		1.0 MPa (10kgf / cm ²)
伝 熱 面 積	給湯側	0.2 6 m ²
	ふろ側	0.1 3 m ²
外 形 寸 法		高さ 7 6 5 mm 幅 5 5 0 mm 奥行 2 2 0 mm
質 量		3 8 kg
電源電圧及び周波数		1 0 0 V 50 / 6 0 Hz
定 格 給 湯 使 用		点火時 1 3 0 / 1 2 0 W 燃烧時 1 2 0 / 1 1 5 W
消費電力 給湯・ふろ同時使用		点火時 2 1 0 / 2 4 0 W 燃烧時 2 0 5 / 2 3 0 W
排 気 温 度		2 6 0 °C以下
騒 音 し れ ば		6 0 dB 以下
ノズル	噴 霧 量	1.4 5 GPH リターンノズル
	スプレーパターン	エバーロイ社のセミフォロー
	噴 霧 角 度	7 0 °
循 環 管 取 付 口 径		R 1 / 2 (1 5 A)
基 準 浴 そ う		有効水量 2 0 0 ~ 3 0 0 L (最大 4 0 0 L まで)
電 流 ヒ ュ ー ズ		1 0 A
送 風 機 ヒ ュ ー ズ		3 A
温 度 ヒ ュ ー ズ		1 8 5 °C
バ ー ナ ー 型 式		S B - 4 2 8 D
安 全 装 置		対震自動消火装置・燃烧制御装置・停電安全装置
そ の 他 の 装 置		異常過熱防止装置・凍結予防装置・電流ヒューズ・送風機ヒューズ 温度ヒューズ・過圧逃し弁
付 属 品		メインリモコン・ふろリモコン・メインリモコンコード・ふろリモコンコード・ アース棒・転倒防止金具・防水カバー・リモコンパイプ・製品固定用ビスセット・ メインリモコン工事用ビスセット・ふろリモコン工事用ビスセット・油配管用φ8 銅管・ビニルホース・防水カバーパッキン・継手パイプ・排水栓付きプラグ・ 表示シール (3種類)・取扱説明書・工事説明書・保証書
区分名 (省エネ法)		A
エネルギー消費効率		8 6.0 %

アフターサービス

サービスを依頼される前は

サービスを依頼される前に 40～42 ページの「故障・異常の見分けかたと処置方法」の項を見て、今一度確認してください。不具合があるときはご自分で修理せず、ご使用を中止し電源プラグを抜いて、お買い求めの販売店にご連絡ください。

●アフターサービスをお申し付けいただくときは、次のことをお知らせください。

1. 品 名……Asahi 石油給湯機付ふろがま
2. 型 式……A S E - K 3 3
3. お買い上げ年月日
4. 故障の状況……できるだけ詳しく
5. ご住所、お名前、電話番号
6. 訪問ご希望日

転居または機器を移設される場合

●転居される場合はお買い求めの販売店にご相談ください。

●移設は販売店に依頼し、お客様自身で行わないでください。

保証・修理について

この機器には「保証書」を添付しています（別添付）

- 正常な使用状態において故障した場合には、保証書の規定によりお買い上げ日より1年間、無料で修理いたします。お買い求めの販売店にご相談ください。
- 保証期間経過後の修理についても、お買い求めの販売店にご相談ください。
- 温泉水・井戸水でのご使用は、保証の対象外となります。
- 凍結やスケール（石灰づまり）による故障の場合は保証期間内でも有料となります。

補修用性能部品の最低保有期間

石油給湯機付ふろがまの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後7年です

●性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

据 付 け

据付け工事は販売店に依頼する

据付けや移動工事は販売店に依頼し、お客様ご自身では行わないでください。

据付場所の選定および標準据付例

据付けについては、火災予防条例、電気設備に関する技術基準など法令の基準があります。工事説明書の「特に注意していただきたいこと」をお読みになり、お買い求めの販売店とよくご相談してください。

また、「標準据付例」については工事説明書を参照してください。

騒音防止について

設置場所の選び方次第で騒音は大きく変わります。

騒音公害とならないよう充分配慮して設置場所を選定してください。

据付け後の確認

据付けが終わりましたら、もう一度、工事説明書の「特に注意していただきたいこと」をお読みになり、工事説明書に記載されている通りに据付けられているかどうか確認してください。

試運転（試運転はお買い求めの販売店とご一緒に必ず行ってください。）

運転準備

準 備 内 容（確認事項）	チェック
(1) 油タンクに灯油が入っており、送油経路の空気抜きができていますか。	
(2) 油タンクや送油管の接続部から油漏れはありませんか。	
(3) 送油管が逆U字型になっていませんか。	
(4) 給水元栓を開き、給湯じゃ口を開くと水が出ますか。	
(5) 機器や配管から水漏れはありませんか。	
(6) リモコンの端子は確実に接続されていますか。	
(7) 電源プラグはコンセントに差し込まれていますか。	
(8) 太陽熱温水器と給湯機本体までの配管内部のエアは抜けていますか。	
(9) 屋外設置となり通気は十分されていますか。	
(10) バーナーの点火・消火は確実ですか。リモコンの燃焼表示で確認してください。	
(11) 湯温調節はできますか。湯温が変化するかどうか確認してください。	

運 転

給 湯

(1) 運転開始手順

いずれかのリモコンの運転スイッチを「入」にして、給湯モード切換スイッチを「ボイラー」モードにて給湯じゃ口を開いてください。優先表示の点灯したリモコンの給湯温度調節スイッチでご希望の温度に調節してください。

(2) 初期運転時の異常現象

運転開始時に電磁ポンプから「ビービー」という音が出ますが、しばらくすると静かになり、燃焼をはじめます。

(3) 正常運転のめやす

湯温調節できるか、排気口からススや煙が出てないか、また異音はしていないか確認してください。

ソーラ1モード、ソーラ2モードも正常な動作をするか確認してください。給湯モード切換スイッチを操作し運転モードを選択します。

ソーラ1モード

- ・給湯温度設定の「あつい」／「ぬるい」を押して湯温の変化を確認します。（設定温度よりソーラ水温度が低い場合はソーラ水がそのまま流れるため設定温度にはなりません）

ソーラ2モード

- ・給湯温度設定の「あつい」／「ぬるい」を押して湯温の変化を確認します。

(4) 停止

給湯じゃ口を閉じると給湯燃焼表示が消灯し、バーナーが停止します。

いずれかのリモコンの運転スイッチを「切」にしてください。

ふろ自動運転

設置後最初にふろ自動運転を行う場合には、ふろ自動運転の前に浴そうに水（湯）が入っていないことを確認してください。水（湯）が入っている場合は、いったん水を抜いて空にしてください。

(1) 運転開始手順

浴そうの排水栓とふたをし、いずれかのリモコンの運転スイッチを「入」にします。給湯モード切換スイッチを「ボイラー」モードにして、ふろ自動スイッチを「入」にします。運転ランプ、給湯燃焼表示、お湯はり表示、ふろ自動ランプが点灯します。

(2) 初期運転時の異常現象

最初にふろ自動運転する場合は、お湯といっしょに空気が出ますが、しばらくすると空気は出なくなります。お湯が出ない場合は配管を確認してください。

(3) 正常運転のめやす

設定量になるとお湯はりを停止し、その後設定温度で保温することを確認してください。（給湯モードがソーラ1モードの時は、ふろの温度と設定温度が一致しない場合があります。また、保温は行ないません。）

(4) 停止

どちらかのリモコンのふろ自動スイッチを「切」にしてください。

給湯燃焼表示、ふろ自動ランプが消灯します。その後どちらかのリモコンの運転スイッチを「切」にします。

追いだき運転

(1) 運転開始手順

浴そうの水が循環口より約10cm以上あることを確認してください。

どちらかのリモコンの運転スイッチとふろリモコンの追いだきスイッチを「入」にしてください。運転ランプ、ふろ燃焼表示、追いだきランプが点灯します。

(2) 初期運転時に異常現象

最初に追いだき運転する場合は、循環するまで時間がかかることがあります。

循環しない場合はふろ自動運転またはたし湯運転を行ってください。

(3) 正常運転のめやす

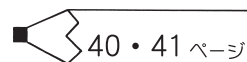
リモコンの追いだきランプが点灯し、循環ポンプが作動していることを確認してください。

(4) 停止

ふろリモコンの追いだきスイッチを「切」にしてください。ふろ燃焼表示、追いだきランプが消灯します。その後どちらかのリモコンの運転スイッチを「切」にします。

お知らせ

- 追いだき運転をする前に、必ずふろ自動運転（自動お湯はり）またはたし湯運転を行ってください。
- 試運転時は内部の防錆油が燃えるため、煙や臭いが出ることがありますが、しばらく燃焼すると出なくなります。
- リモコンの給湯表示が点滅してバーナーが停止した場合は、エラーコードを参照して原因を調べて処置してください。





朝日ソーラー株式会社

〒870-0844 大分県大分市古国府1003-2

TEL: (097) 546-7500 (代) FAX: (097) 546-7555

<http://www.asahisolar.co.jp>

販 売 店